

動画で正しいがん情報を

がん社会 を診る

中川 恵一

「ブ」は、誤ったがん治療に関する動画の削除を開始したと発表しました。

ユーチューブは以前から、人権侵害につながる情報や、新型コロナウイルスのワクチンなどに関する誤った医療情報などを削除の対象にしてきました。がんに関しては「世界的に最も多い死因の一つで、誤った情報が広がりやすい」として新たに誤情報削除の対象に加えました。

削除の対象として、「ニン

ニクでがんが治る」、「放射線治療の代わりにビタミンCを摂取しよう」といった例が示されています。患者を誤情報から守るといふ観点では高く評価したいと思います。

私が議長を務める厚生労働省の国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」でも、ホームページやメールアドレスなどを通じた情報発信を行い、職場でのがん対策の啓発活動を行っています。

ではなぜ知られていない？」のタイトルは単体で5万回以上も再生されています。欧米と比べて日本では普及が遅れている放射線治療にも注目が集まっていることもうかがえます。最近では「視聴者からの質問編」や、「がんサバイバーとの対談編」などを展開し、ごく身近にある話題から、医療者とのコミュニケーションの方法など、様々なコンテンツを配信しています。今後は「がんに関する誤解、迷信」についても発信していく予定です。

とりわけ「科学的根拠に基づいた、がんに関する正しい情報発信」や「ヘルスリテラシーの向上」を目的として配信しているユーチューブ動画コンテンツが好評で、2020年10月の配信開始以来、すでに50ものタイトルが公開され、総再生数は30万回を突破しています。

なかでも「放射線治療の体への負担と治療費は？」日本

「企業アクション」で検索すれば誰でも閲覧することができます。1本あたり3〜5分の動画に編集されていますから、通勤時間にスマートフォンで手軽に視聴できる内容です。

興味がありそうなタイトルだけでも、ぜひ一度視聴してみてください。がん治療の他、がん予防の面でも必ずお役に立てることと思います。

インターネットやスマートフォン
の普及により、様々な情報が簡単に入手できるよう
になっています。がんについ
ても、ネットは重要な情報源
ですが、科学的根拠のない内
容も氾濫し、本場に正しい情
報を取捨選択して手に入れる
ことが難しい時代になってい
ます。私自身も、インターネ
ットによって誤った情報を信
じ込み、命を落としたり患者を
数多く見てきました。

今年8月、グーグル傘下の
動画投稿サイト「ユーチュ



イラスト 中村 久美